

# 由布市地域公共交通活性化協議会

平成22年3月11日設置



## 概要

由布市は、平成17年10月1日に観光の湯布院町、農業の庄内町、商業の挾間町、三町が合併して誕生しました。路線バスの廃止などによる交通空白地域が拡大するなか、市民一人ひとりが地域で安心して暮らせるよう、平成19年1月からコミュニティバスを運行しています。今後、財政状況が厳しくなることが予想されますが、日常の最低限の交通サービスレベルを維持・確保するため、運行システムの改善を検討し、将来にわたり持続可能な公共交通の再編方針を確立する必要があります。また、由布高校中高一貫教育実施(H23年度)に伴うスクールバス混乗路線の見直しも喫緊の課題となっています。

### ○地域公共交通の現況

- ・JR久大本線(駅:向之原・鬼瀬・小野屋・天神山・庄内・湯平・南由布・由布院)
- ・コミュニティバス(路線数:24路線)
- ・スクールバス(路線数:5路線)
- ・シャトルバス(路線数:2路線)
- ・高速バス(路線数:3路線)

### ○地域公共交通の課題

- ・日常の移動手段の持続的確保
- ・由布高校中高一貫教育実施(H23年度)に伴うスクールバス混乗路線の見直し

### ○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・潜在需要分析
- ・市民アンケート調査
- ・利用者ヒアリング調査
- ・事業者ヒアリング調査
- ・日報データ集計

### ○地域公共交通総合連携計画の策定

- ・住民及び来訪者の移動手段の確保、整備
- ・公共交通機関のソフト面、ハード面の整備改善
- ・スクールバス混乗路線の利便向上及び安全の確保

